

# InterCLASS Console Support

**InterCLASS Console Support v2.4操作マニュアル（設定編）**

---

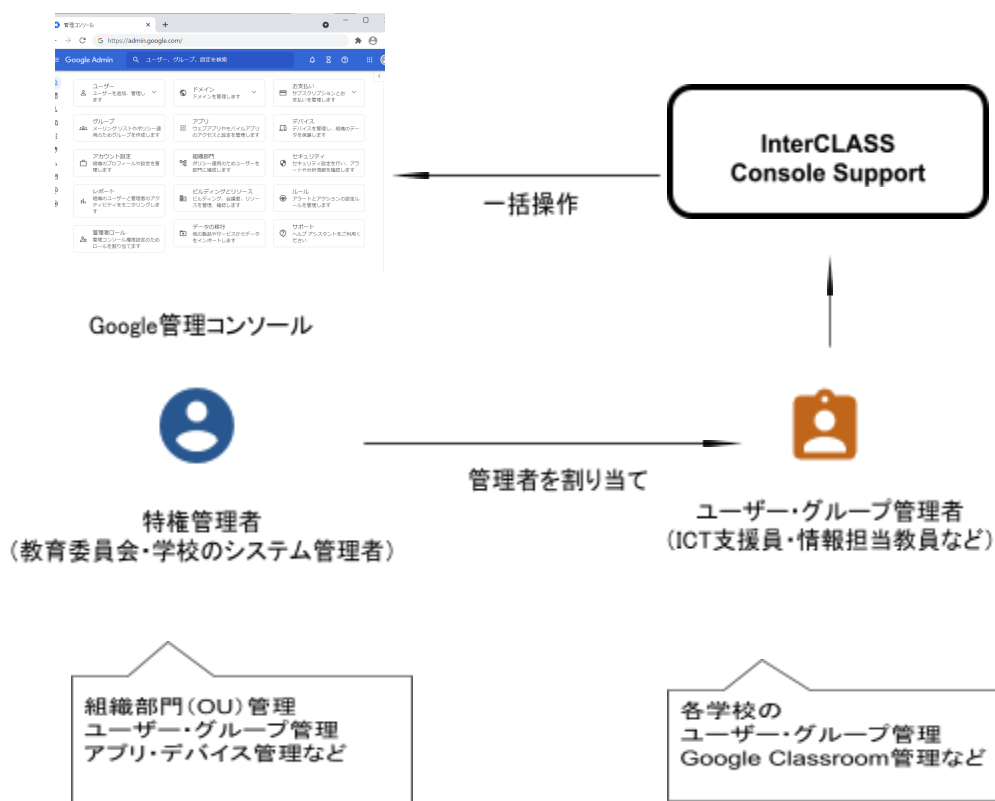
# はじめに

InterCLASS Console Supportを導入いただき、ありがとうございます。

InterCLASS Console SupportはGoogle管理コンソールのユーザー管理機能を拡張し、学校でのユーザー管理業務を効率化するためのGoogle Workspace Marketplaceアプリです  
本書をよくお読みのうえ、Googleアカウントの運用管理の効率化にお役立てください。

## InterCLASS Console Supportの構成

InterCLASS Console Supportは、Google管理コンソールのユーザー管理機能を拡張するGoogle Workspace Marketplaceアプリです。必要な管理権限を割り当てられた管理者は、InterCLASS Console Supportの操作画面を通じてユーザーやグループの管理、Google Classroomの管理ができます。



# 動作環境

---

導入前に、あらかじめ以下の動作環境を確認してください。

## ■必要環境

- Google for Educationの利用承認を受けている教育機関であること。
- Google管理コンソールによりお客様のドメインにユーザーが追加され、組織部門が適切に設定されていること。
- Chrome Education Upgradeが導入済みであり、学習者用のChromebookがGoogle管理コンソールに登録されていること。

## ■管理画面を使用するコンピュータ

**OS** : Windows 10 Pro, Education, Enterprise / 8.1 Pro (32bit版および64bit版)  
Mac OS 10.14 (sierra) 以上、最新のChrome OS

**アプリ** : Google Chrome v92以上

**メモリ** : 4GB以上

**その他** : Wi-Fi,Ethernet機能またはLTE通信機能を有すること。  
インターネットに接続されていること。

# 本書の構成と読み方

---

本書では、InterCLASS Console Support の導入と運用にあたり、特権管理者が行うGoogle管理コンソールの設定とInterCLASS Console Supportの設定について記載しています。また管理者権限が割り当てられた学校管理者によるユーザー・グループ等の運用管理方法について説明します。

---

# 目次

---

はじめに	1
<b>InterCLASS Console Supportの構成</b>	<b>1</b>
動作環境	2
本書の構成と読み方	2
<b>Google Cloud Platformの設定</b>	<b>4</b>
Google Cloud Platformの設定	4
<b>ドメイン全体の管理を委任の設定</b>	<b>21</b>
Google Classroomのデータアクセスの許可	26
<b>QRコードログインの設定</b>	<b>29</b>
サードパーティのIDプロバイダを使用したシングルサインオンの設定	29
QRコードログインを適用するChromeデバイスを特定の組織部門に移動	35
Chromeデバイスの設定の変更	38
Chromebookのログイン画面を確認	41
<b>InterCLASS Console Supportの起動と終了</b>	<b>42</b>
InterCLASS Console Supportへログインする	42
InterCLASS Console Supportへログアウトする	44
<b>システム管理の設定</b>	<b>45</b>
システム管理を開く	45
サービスアカウント登録	46
サービスアカウント利用設定	47
サービスアカウントを利用しない場合	47
サービスアカウントを利用する場合	47
権限付与方法の違い	48
権限管理	49
<b>CHIERUサポートについて</b>	<b>50</b>

# Google Cloud Platformの設定

ドメイン管理者以外のユーザーのご利用には、Google Cloud Platformのご契約と、サービスアカウントの発行が必要です。

本サービスにおいて、お客様に課金が発生するサービスの利用は求められません。

## ⚠ 注意

2021年9月以降、Google Workspace for Educationでは、一部のGoogleサービスで年齢に基づくアクセス制御が追加され、規定の設定になっています。Google Cloud Platformも既定の設定では規制されるサービスに含まれるため、事前に設定変更が必要です。詳しくは下記の管理者ヘルプをご参照ください。

Google サービスへのアクセスを年齢で制御する  
<https://support.google.com/a/answer/10651918>

## Google Cloud Platformの設定

1. ChromeウェブブラウザでGoogle Cloud Platform (<https://console.cloud.google.com>) にアクセスします。
2. 初回アクセスの場合以下のような画面が表示されます。利用規約にチェックをいれ、**同意して続行**をクリックします。



3. ページ最上部トップバーのGoogle Cloud Platform表記の右側にある、**プロジェクトの選択**ボタンをクリックしてください。



4. ポップアップの右上の**新しいプロジェクト**ボタンからプロジェクトを作成してください。



5. プロジェクト名に任意の名称を入れ、**作成**ボタンをクリックしてください。

A screenshot of the '新しいプロジェクト' (New Project) form in Google Cloud Platform. The top bar is blue with the Google Cloud Platform logo and a search bar. The main heading is '新しいプロジェクト' (New Project). Below it is a warning box with a yellow triangle icon, stating that the number of projects within the quota is 27 and providing a link to 'MANAGE QUOTAS'. The 'プロジェクト名 \*' (Project name) field is highlighted with a red rectangle and contains the text 'ICCS202112'. Below it is the 'プロジェクト ID: iccs202112' and a '編集' (Edit) link. The '組織 \*' (Organization) field is empty. Below it is the '場所 \*' (Location) field, which is empty. At the bottom are two buttons: '作成' (Create), highlighted with a red rectangle, and 'キャンセル' (Cancel).

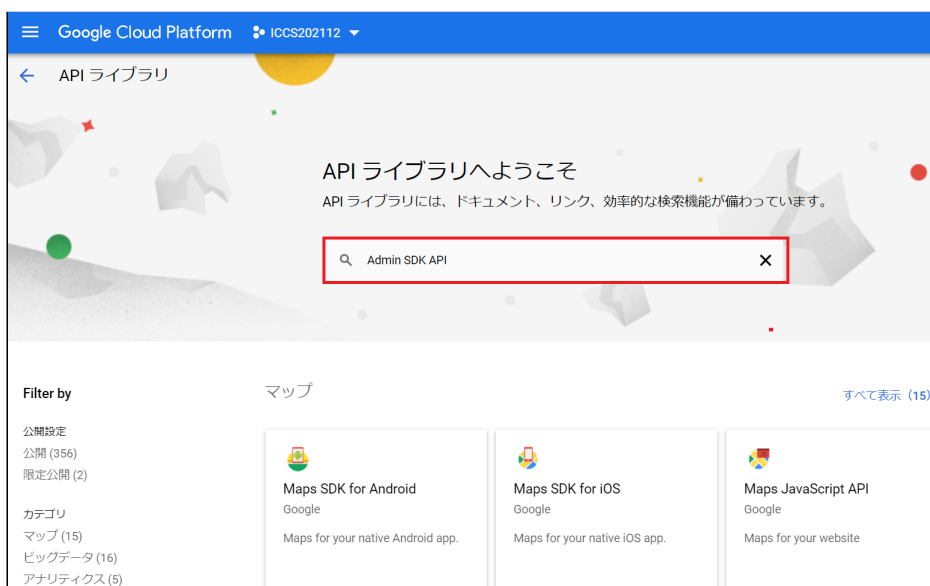
6. プロジェクトの作成が終了すると以下のような通知が届きます。**プロジェクトを選択**をクリックしてプロジェクトのダッシュボードに移動してください。



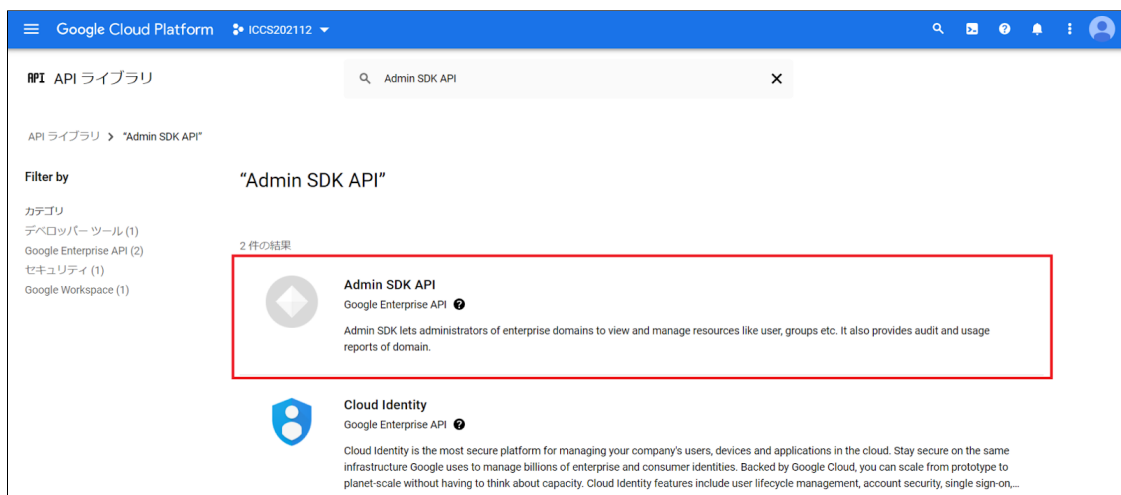
7. メニューの**APIとサービス**から**ライブラリ**を表示します。



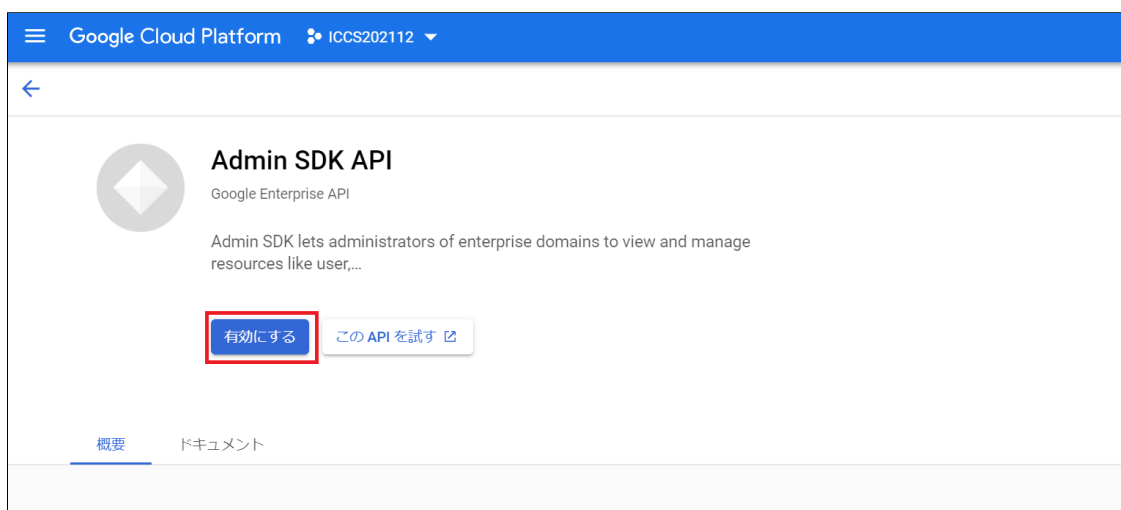
8. **APIとサービスの検索**ボックスに「**Admin SDK API**」と入力してください。



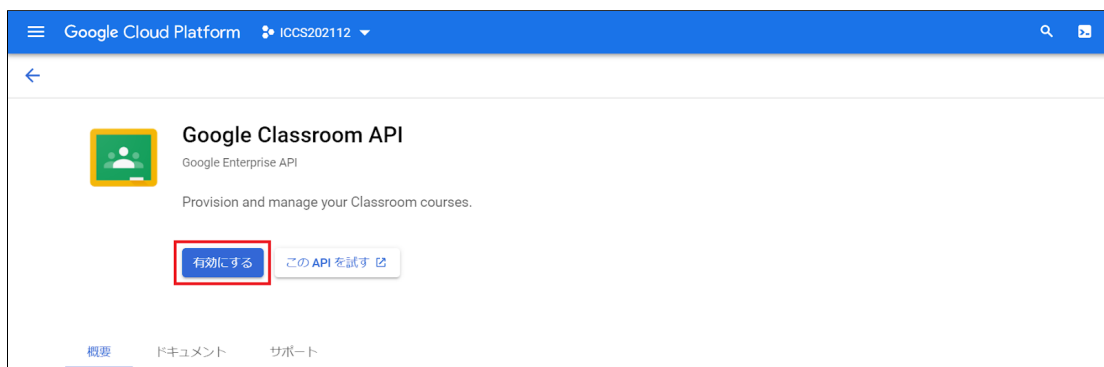
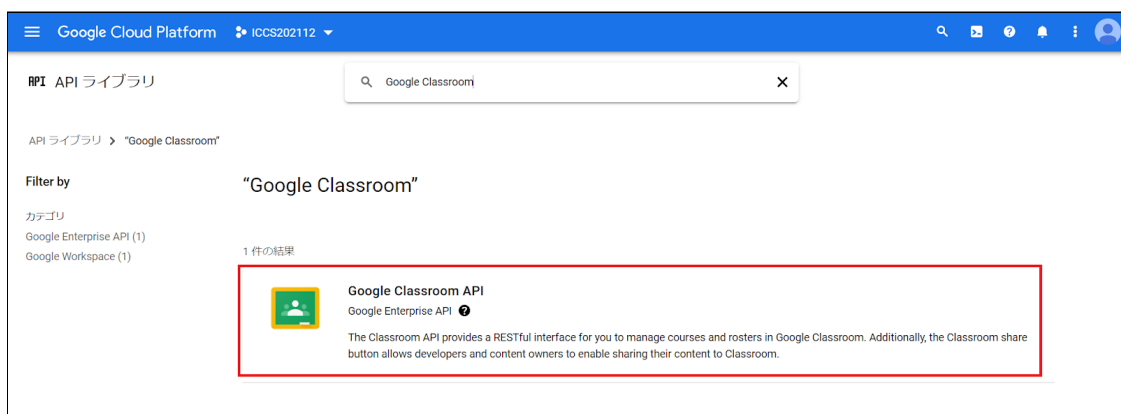
9. 検索結果に表示された**Admin SDK API**をクリックし、**有効にする**をクリックします。



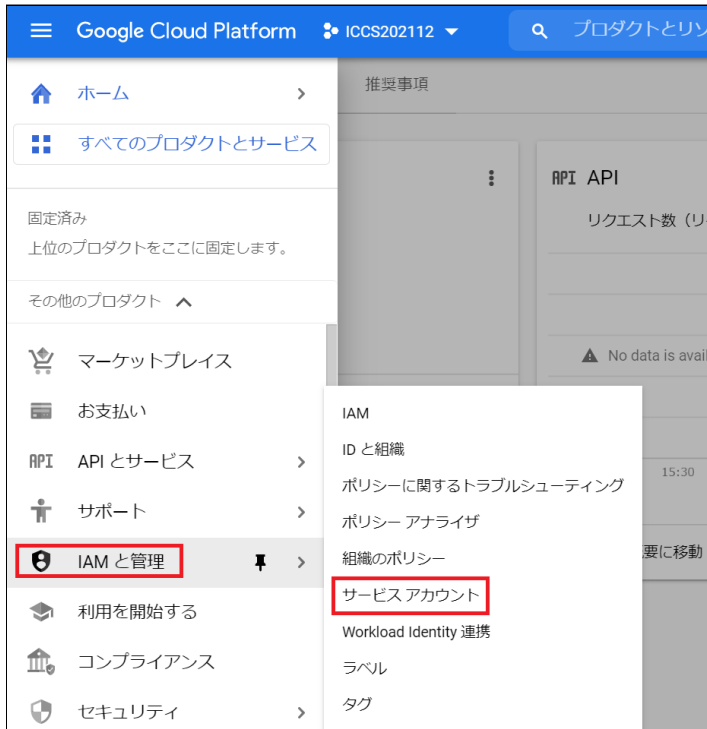




10. 手順7.8.と同じ操作で「Google Classroom API」を検索し、有効化してください。



11. メニューのIAMと管理からサービス アカウントを表示します。



12. 左上の+サービス アカウントを作成をクリックします。



13. 任意のサービス アカウント名と、サービス アカウントの説明を入力し作成して続行をクリックします。

サービス アカウントの作成

1 サービス アカウントの詳細

サービス アカウント名 \*

ICCS

このサービス アカウントの表示名

サービス アカウント ID \*

iccs-399 @iccs202112.iam.gserviceaccount.com X ↺

サービス アカウントの説明

ICCS用サービスアカウント

このサービス アカウントで行うことを説明します

作成して続行

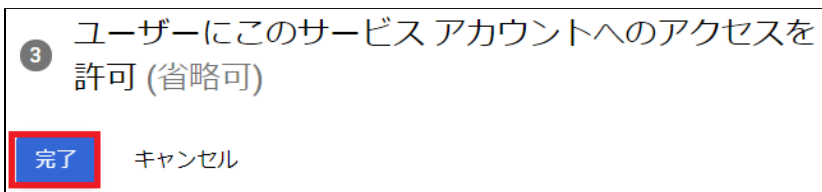
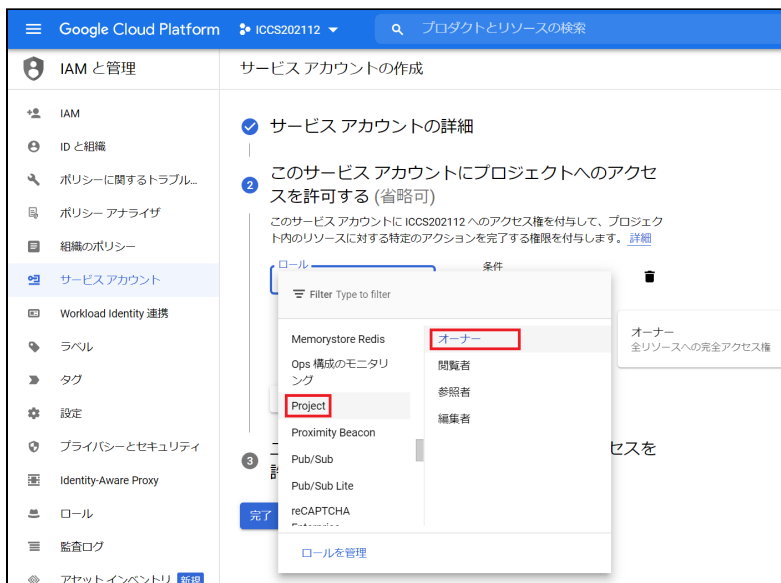
2 このサービス アカウントにプロジェクトへのアクセスを許可する (省略可)

3 ユーザーにこのサービス アカウントへのアクセスを許可 (省略可)

完了

 キャンセル

14. 項目 2 で、**Project**→**オーナー**のロールを設定して、一番下の**完了**をクリックします。※項目 3 の設定は不要です。



15. 一覧画面から、先程作成したサービス アカウントの**メール**部分をクリックし、設定画面へ移動します。



16. **詳細設定を表示**をクリックし、「OAuth クライアントを作成するには、OAuth 同意画面を構成する必要があります。」の下にある**構成**をクリックします。

[詳細](#) [権限](#) [キー](#) [指標](#) [ログ](#)

### サービス アカウントの詳細

名前  
ICCS

保存

説明  
ICCS用サービスアカウント

保存

メール  
iccs-399@iccs202112.iam.gserviceaccount.com

一意の ID  
110474497649856444661

### サービス アカウントのステータス

アカウントを無効にすることによって、アカウントを削除することなくポリシーを保持できます。

✔ アカウントは現在アクティブです

サービス アカウントを無効化

▼ 詳細設定を表示

### ドメイン全体の委任

⚠ ドメイン全体の委任によって組織のデータへのアクセス権をこのサービス アカウントに付与する場合には、注意深く行う必要があります。元に戻すには、サービス アカウントを無効化または削除するか、Google Workspace 管理コンソールからアクセス権を削除します。

[詳細](#)

クライアント ID: 110474497649856444661 

GOOGLE WORKSPACE 管理コンソールを表示 

### Google Workspace Marketplace OAuth クライアント

⚠ この OAuth クライアントの作成は、Google Workspace Marketplace ドメイン全体のインストールをサポートするために必要であり、慎重に使用する必要があります。Google Workspace Marketplace は、プロジェクト内のすべての OAuth クライアントに権限を付与する場合があります。この操作を元に戻すには、サービス アカウントを無効にするか削除するしかありません。

[詳細](#)

❗ OAuth クライアントを作成するには、OAuth 同意画面を構成する必要があります。

構成


⤴ 詳細設定を非表示

17. User Typeの**内部**を選択し、**作成**をクリックします。


### OAuth 同意画面

アプリをどのように構成および登録するか（ターゲット ユーザーを含む）を選択します。プロジェクトに関連付けることができるアプリは1つだけです。

#### User Type

☒ 内部 

組織内のユーザーのみが使用できます。確認を受けるためにアプリを送信する必要はありません。 [ユーザーの種類の詳細](#)

☐ 外部 

Google アカウントを持つすべてのテストユーザーが使用できます。アプリはテストモードで起動し、アプリを使用できるのは、テストユーザーのリストに追加されたユーザーに限られます。アプリを本番環境に移す準備ができれば、アプリの確認が必要となる場合があります。 [ユーザーの種類の詳細](#)

Google の OAuth に関する [ご意見やご要望をお聞かせください](#)。

18. アプリ名に**任意の名称**、ユーザーサポートメール、デベロッパーの連絡先情報に**任意のメールアドレス(例：管理者のメールアドレス)**を設定し、**保存して次へ**をクリックします。

アプリ登録の編集

1 OAuth 同意画面 — 2 スコープ — 3 概要

アプリ情報

この情報は同意画面に表示されるため、デベロッパーのユーザー情報とデベロッパーへの問い合わせ方法をエンドユーザーが把握できます。

アプリ名 \*  
ICCS

同意を求めるアプリの名称

ユーザーサポートメール \*  
任意のメールアドレス

ユーザーが同意に関し問い合わせるために使用

アプリのロゴ 参照

ユーザーがアプリを認識できるように、同意画面に 1 MB 以下の画像をアップロードします。使用できる画像形式は、JPG、PNG、BMP です。最適な結果を得るには、ロゴを 120 x 120 ピクセルの正方形にすることをおすすめします。

アプリのドメイン

デベロッパーとユーザーを保護するために、Google では、OAuth を使用するアプリのみに認可ドメインの使用を許可しています。同意画面では、次の情報がユーザーに表示されます。

アプリケーションのホームページ

ホームページへのリンクをユーザーに提供します

[アプリケーション プライバシー ポリシー] リンク

一般公開のプライバシー ポリシーへのリンクをユーザーに提供します

[アプリケーション利用規約] リンク

一般公開の利用規約へのリンクをユーザーに提供します

承認済みドメイン ?

同意画面または OAuth クライアントの構成でドメインが使用されている場合は、ここで事前登録する必要があります。アプリの検証が必要な場合は、[Google Search Console](#) にアクセスして、ドメインが承認済みであるかどうかを確認してください。承認済みドメインの上限の[詳細](#)をご覧ください。

+ ドメインの追加

デベロッパーの連絡先情報

メールアドレス \*  
任意のメールアドレス

これらのメールアドレスは、プロジェクトの変更について Google からお知らせするために使用します。

保存して次へ キャンセル

19. **保存して次へ**をクリックします。

### アプリ登録の編集

✓ OAuth 同意画面

 — 

**2** スコープ

 — 

3 概要

スコープとは、アプリのユーザーに許可を求める権限を表します。スコープを定めることで、プロジェクトからユーザーの Google アカウントにある特定の種類のプライベートなユーザーデータへのアクセスが可能になります。[詳細](#)

スコープを追加または削除

### 非機密のスコープ

API ↑	範囲	ユーザー向けの説明
表示する行がありません		

### 🔒 機密性の高いスコープ

機密性の高いスコープとは、プライベート ユーザーデータへのアクセスをリクエストするスコープです。

API ↑	範囲	ユーザー向けの説明
表示する行がありません		

### 🔒 制限付きのスコープ

制限付きのスコープとは、機密性の高いユーザーデータへのアクセスをリクエストするスコープです。

API ↑	範囲	ユーザー向けの説明
表示する行がありません		

保存して次へ

キャンセル



## 20. ダッシュボードへ戻るをクリックします。

アプリ登録の編集

✓ OAuth 同意画面

—

✓ スコープ

—

3 概要

OAuth 同意画面

編集

ユーザーの種類

内部

アプリ名

ICCS

サポートメール

任意のメールアドレス

アプリのロゴ

指定されていません

[アプリケーション ホームページ] リンク

指定されていません

[アプリケーション プライバシー ポリシー] リンク

指定されていません

[アプリケーション 利用規約] リンク

指定されていません

承認済みドメイン

指定されていません

連絡先メールアドレス

任意のメールアドレス

スコープ

編集

API ↑	範囲	ユーザー向けの説明
表示する行がありません		

ダッシュボードに戻る

21. OAuth同意画面が表示されたら、操作は終了です。

OAuth 同意画面

ICCS [アプリを編集](#)

ユーザーの種類

内部 [?](#)

[外部へ](#)

OAuth レート上限

トークン付与レート [?](#)

トークン付与レートは、アプリケーションで新規ユーザーを取得できる速度を制限します。

現在の1日あたりのトークン付与レートの上限は 10,000 件の付与です。1日あたりのトークン付与レートは毎日リセットされます。[1日あたりのトークンの上限を増やす](#)

5分 ☒ 1日

10,001

No data is available for the selected time frame.

10,000

18:00

21:00

火 14

3:00

6:00

9:00

12:00

15:00

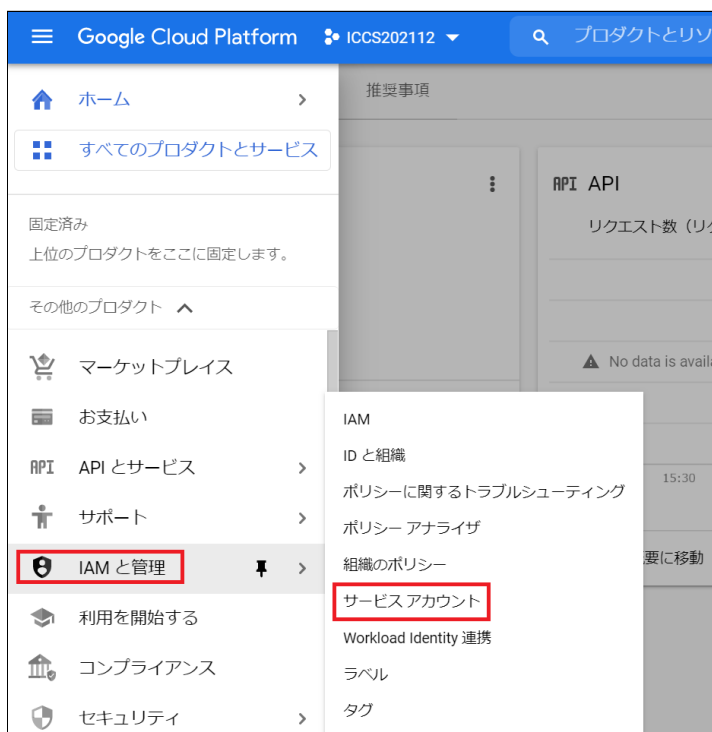
9,999

[SHOW LESS](#)

Google の OAuth に関する[ご意見やご要望をお聞かせください](#)。

17

22. 再度、メニューのIAMと管理からサービス アカウントを表示します。



23. サービスアカウントのOAuth2クライアントIDから、操作を選び、鍵を管理をクリックします。

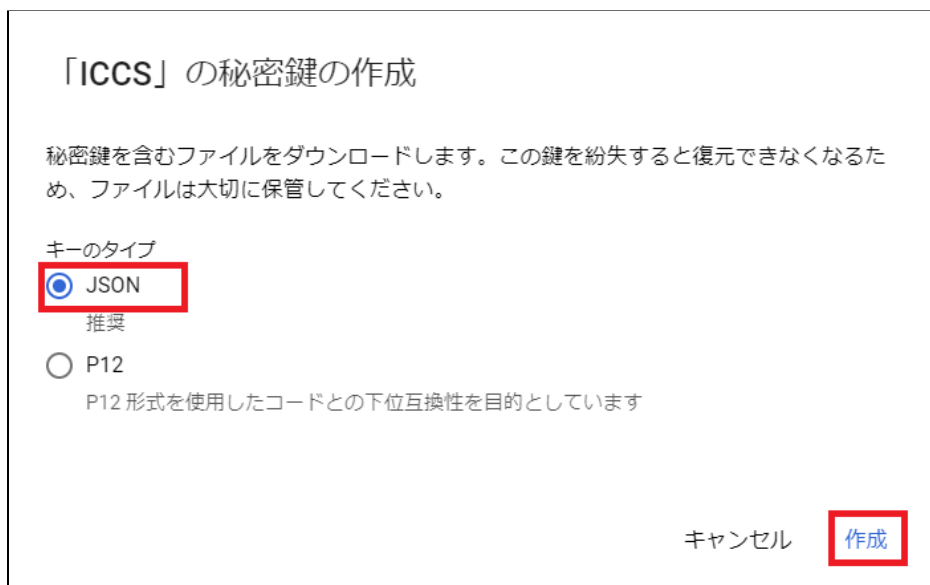
※OAuth2クライアントIDの番号は後ほど使用しますので、番号をお控えください。



24. 続いて**キー**タブの**鍵を追加**から**新しい鍵を作成**をクリックします。



25. キーのタイプは**JSON**を選択し、**作成**をクリックしてください。



26. JSON形式の秘密鍵がダウンロードされます。このICCSの秘密鍵を後ほど初回ログイン時に登録していただくため、確実に保存しておいてください。

### 秘密鍵がパソコンに保存されました



iccs202112-726632d16c06.json によってクラウド リソースへのアクセスが許可されるため、安全に保存してください。[詳細](#)

閉じる



### 注意

※同じ鍵は2回ダウンロードできません。紛失した場合は再作成する必要があります。

# ドメイン全体の管理を委任の設定

---

1. Chromeウェブブラウザで、Google Admin (<https://admin.google.com>) にアクセスします。
2. 特権管理者のアカウントでサインインします。
3. 左上のメインメニューをクリックします。



4. セキュリティのAPI制御をクリックします。



5. APIの制御内のドメイン全体の委任にある**ドメイン全体の委任を管理**をクリックします。



6. セキュリティ>APIの制御>ドメイン全体の委任画面で、**新しく追加**をクリックします。





7. **新しく追加**をクリックして、「**新しいクライアントIDを追加**」ポップアップを表示します。



8. 新しいクライアントIDを追加画面が表示されます。

## 新しいクライアント ID を追加

クライアント ID

☐ 既存のクライアント ID を上書きする ?

OAuth スコープ (カンマ区切り)

キャンセル 承認

9. **クライアントID**には「Google Cloud Platformの設定」の23.で表示したクライアントIDを入力し、**OAuthスコープ**には下記の必要なスコープをカンマ区切りで全て記述します。

■必要なスコープの一覧

```
https://www.googleapis.com/auth/admin.directory.user,  
https://www.googleapis.com/auth/admin.directory.customer.readonly,  
https://www.googleapis.com/auth/admin.directory.group,  
https://www.googleapis.com/auth/admin.directory.orgunit,  
https://www.googleapis.com/auth/admin.directory.userschema,  
https://www.googleapis.com/auth/script.external_request,  
https://www.googleapis.com/auth/classroom.courses,  
https://www.googleapis.com/auth/classroom.rosters,  
https://www.googleapis.com/auth/classroom.profile.emails,  
https://www.googleapis.com/auth/classroom.profile.photos,  
https://www.googleapis.com/auth/sqlservice,  
https://www.googleapis.com/auth/admin.directory.device.chromeos
```

10. 必要な**クライアントID**と**スコープ**を入力後、**承認**をクリックします。

新しいクライアント ID を追加

クライアント ID

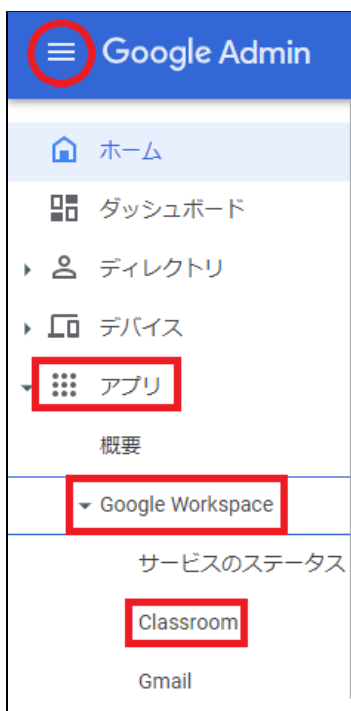
☐ 既存のクライアント ID を上書きする ?

OAuth スコープ (カンマ区切り)

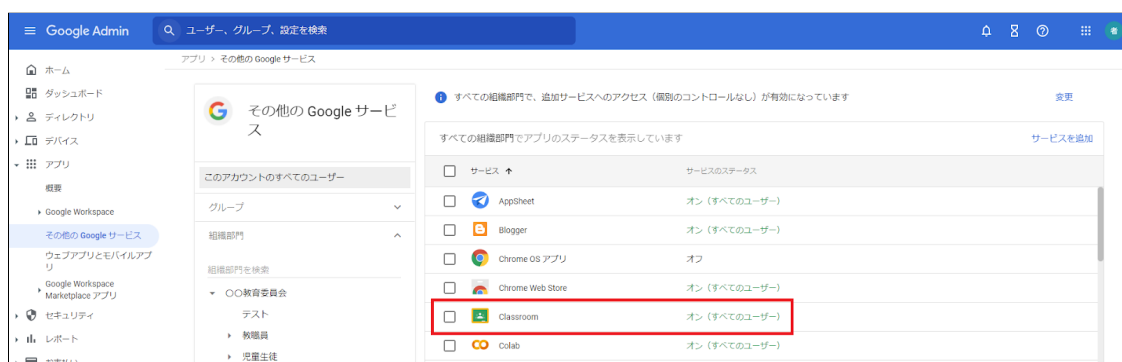
キャンセル 承認

## Google Classroomのデータアクセスの許可

1. 左上のメニューをクリックし、**アプリ**>**Google Workspace**>**Classroom**をクリックします。



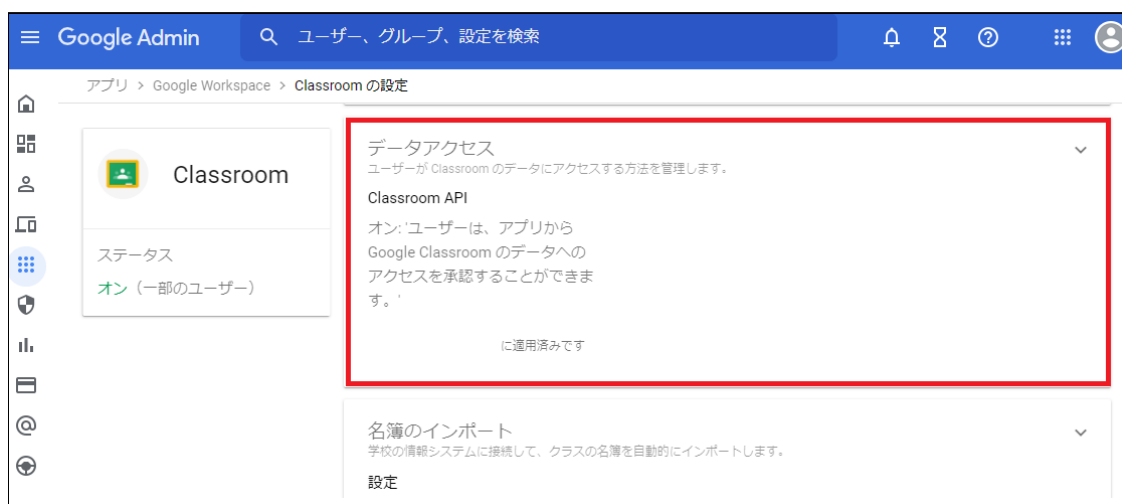
※上記の場所にて確認できない場合は、**アプリ**>**その他のGoogleサービス**をクリックし、「**Classroom**」をクリックしてください。



## 2. Classroomの設定画面が開きます。



## 3. データアクセスをクリックします。



4. 適用する組織部門を選択し、「ユーザーは、アプリからGoogle Classroom のデータへのアクセスを承認することができます。」にチェックを入れ、保存します。



# QRコードログインの設定

QRコードを使ったChromebookへのログイン機能を有効にする場合は、Google管理コンソールで以下の設定を適用します。

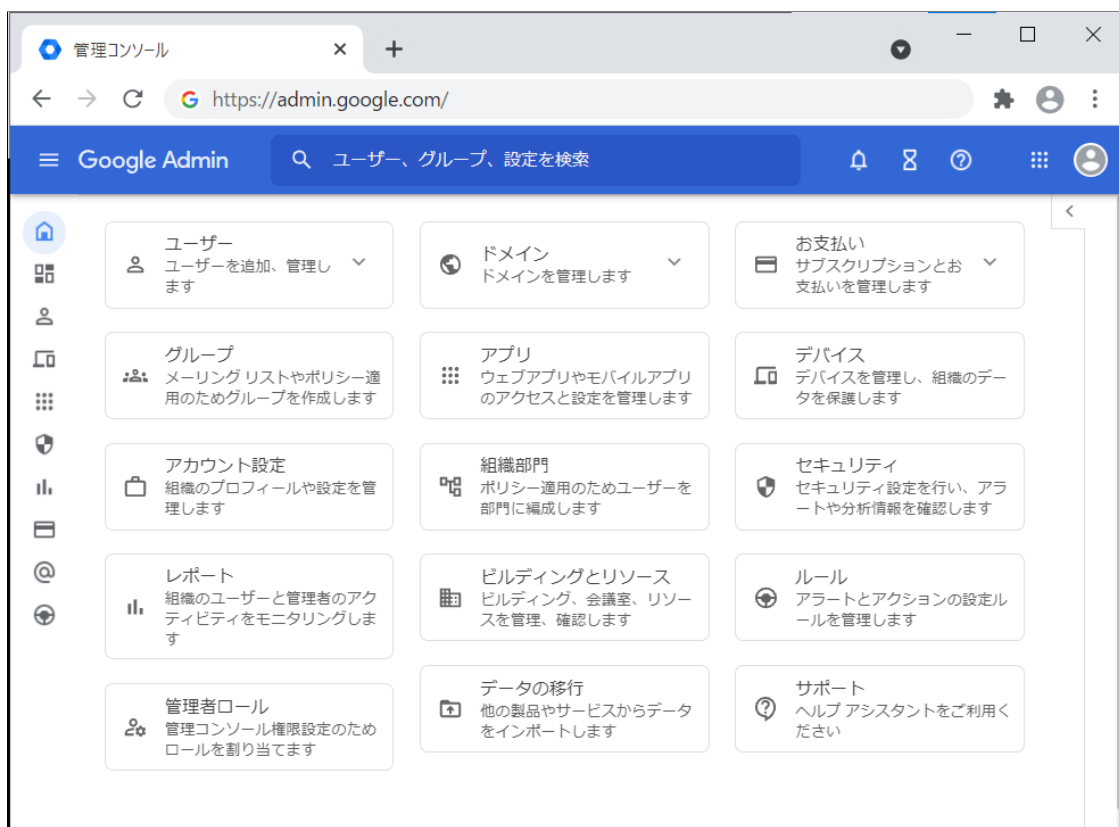
## サードパーティのIDプロバイダを使用したシングルサインオンの設定

QRコードを使用したChromebookへのログインに必要な設定です。

### ⑨ ポイント

設定は特権管理者が行います。

1. Chromeウェブブラウザで**Google管理コンソール** (<https://admin.google.com/>) にアクセスします。
2. **特権管理者のアカウント**でサインインします。



3. 左上のメニューをクリックし、**セキュリティ> 認証> サードパーティのIdPによるSSO**をクリックします。



4. **サードパーティのIDプロバイダを使用したシングルサインオン（SSO）**の設定が開きます。



5. **組織向けのサードパーティのSSOプロファイル**のパネルを展開するか、組織向けのSSOプロファイルを編集します。

組織向けのサードパーティの SSO プロファイル

すべてのユーザーがこのプロファイルのサードパーティの IDP で Google Workspace にログインします。ただし、このプロファイルを使用しないよう指定した組織部門またはグループは除きます。 [詳細](#)

組織向けの SSO プロファイル

組織向けの SSO プロファイル

オン

6. **サードパーティのIDプロバイダでSSOを設定する**にチェックを入れ、**ログインページのURL**と**ログアウトページのURL**の設定項目に以下のURLを設定します。

a.ログインページのID

<https://sso.interclasscloud.com:443/idp/SSORedirect/metaAlias/idp>

b.ログアウトページのID

<https://sso.interclasscloud.com:443/idp/SSORedirect/metaAlias/idp>

サードパーティの ID プロバイダ

☒ サードパーティの ID プロバイダで SSO を設定する

サードパーティの ID プロバイダを使用した管理対象 Google アカウントへのシングルサインオンを設定するには、以下の情報を入力してください。 [詳細](#)

ログインページの URL

<https://sso.interclasscloud.com:443/idp/SSORedirect/metaAlias/idp>

システムと Google Workspace へのログイン用 URL

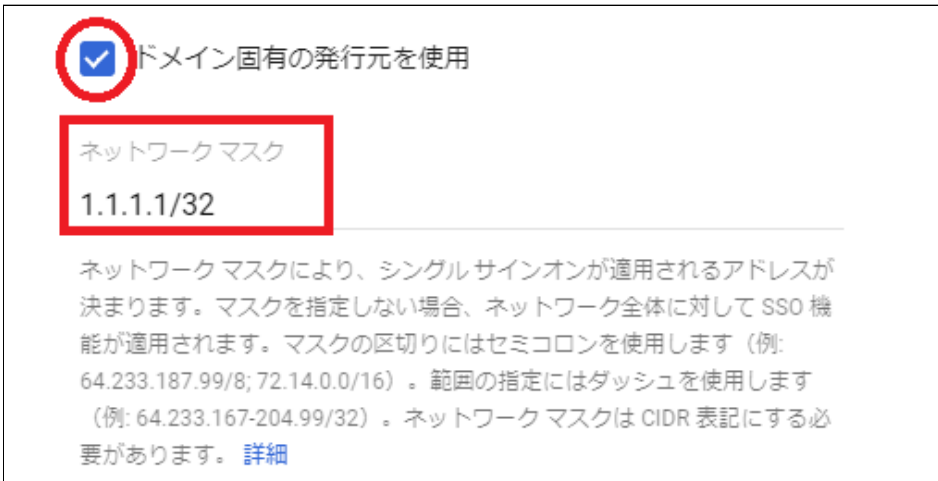
ログアウトページの URL

<https://sso.interclasscloud.com:443/idp/SSORedirect/metaAlias/idp>

ユーザーがログアウトするときにリダイレクトする URL



7. ドメイン固有の発行元を使用のチェックを入れ、**ネットワークマスク**に、**1.1.1.1/32**を入力します。



☒ ドメイン固有の発行元を使用

ネットワーク マスク  
1.1.1.1/32

ネットワーク マスクにより、シングルサインオンが適用されるアドレスが決まります。マスクを指定しない場合、ネットワーク全体に対して SSO 機能が適用されます。マスクの区切りにはセミコロンを使用します（例: 64.233.187.99/8; 72.14.0.0/16）。範囲の指定にはダッシュを使用します（例: 64.233.167-204.99/32）。ネットワーク マスクは CIDR 表記にする必要があります。 [詳細](#)

8. 右下の**保存**をクリックします。



キャンセル 保存

9. 証明書ファイルの登録が必要な場合、Google管理コンソールで証明書ファイルを登録します。証明書を求められる場合InterCLASS Console Supportホーム>ログイン管理>QRコードログインにアクセスし、**証明書をダウンロードする**をクリックします。

P42.「[InterCLASS Console Supportへログインする](#)」参照



ICCS InterCLASS® Console Support

ホーム

Googleユーザー管理

組織部門

ユーザー

グループ

Classroom管理

Classroom作成

ログイン管理

QRコードログイン

QRコードログイン

証明書をダウンロードする

親の組織部門

絞り込み

10. サードパーティのIDプロバイダを使用したシングルサインオン（SSO）の設定のページで、確認用の証明書欄の証明書をアップロードをクリックします。

Google Admin

ユーザー、グループ、設定を検索

6 ?

セキュリティ > シングルサインオン

セキュリティ

サードパーティの ID プロバイダを使用したシングルサインオン（SSO）の設定

サードパーティの ID プロバイダ

☒ サードパーティの ID プロバイダで SSO を設定する

サードパーティの ID プロバイダを使用した管理対象 Google アカウントへのシングルサインオンを設定するには、以下の情報を入力してください。 [詳細](#)

ログインページの URL

https://sso.interclasscloud.com:443/idp/SSORedirect/

システムと G Suite へのログイン用 URL

ログアウトページの URL

https://sso.interclasscloud.com:443/idp/SSORedirect/

ユーザーがログアウトするときにリダイレクトする URL

確認用の証明書

証明書ファイルはアップロードされていません。

証明書をアップロード

必須項目はすべて入力してください

証明書ファイルには、Google がログイン リクエストを確認するための公開鍵が含まれている必要があります。 [詳細](#)

☒ ドメイン固有の発行元を使用

ネットワーク マスク

1.1.1.1/32

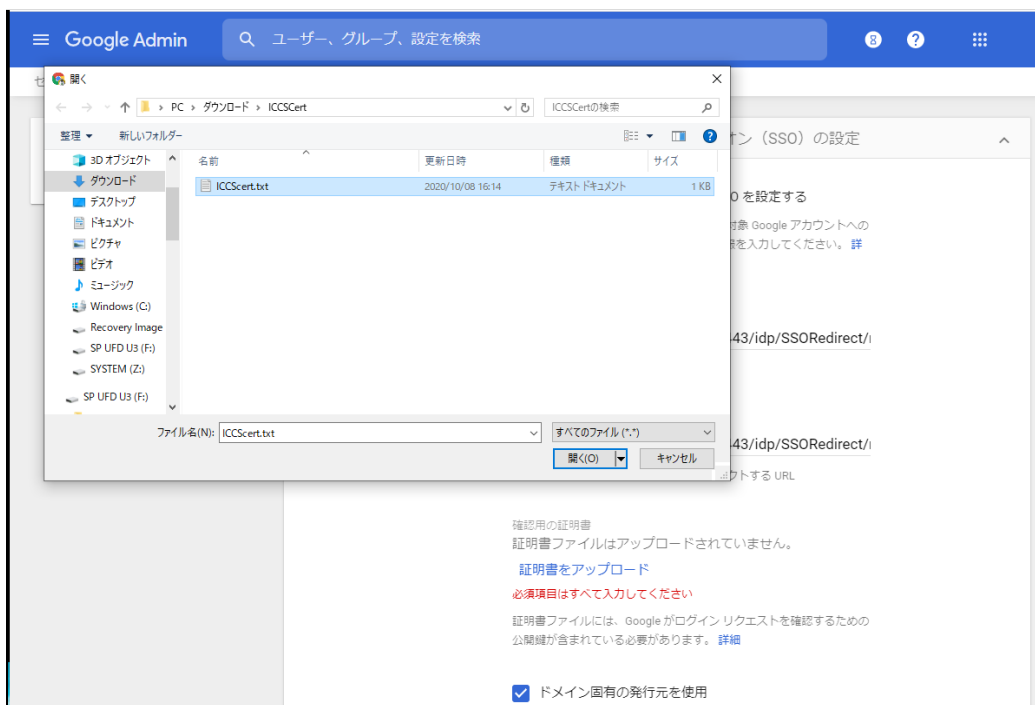
ネットワーク マスクにより、シングルサインオンが適用されるアドレスが決まります。マスクを指定しない場合、ネットワーク全体に対して SSO 機能が適用されます。マスクの区切りにはセミコロンを使用します（例: 64.233.187.99/8; 72.14.0.0/16）。範囲の指定にはダッシュを使用します（例: 64.233.167-204.99/32）。ネットワーク マスクは CIDR 表記にする必要があります。 [詳細](#)

パスワード変更用 URL

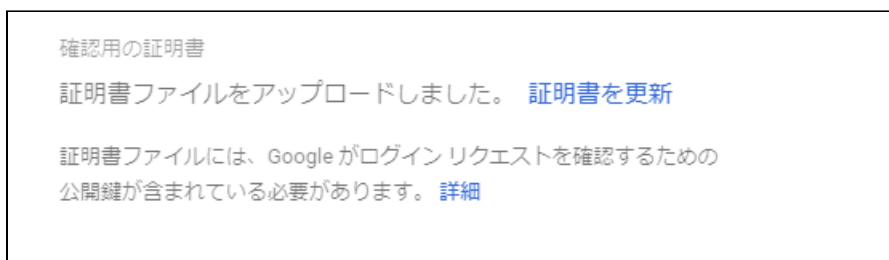
ユーザーがシステムでパスワードを変更する際にアクセスする URL です。定義すると、シングルサインオンが無効になっていない場合でもこの URL が表示されます

キャンセル 保存

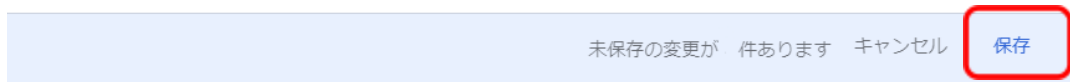
11. QRコードログインからダウンロードした**ICCSert.zip**ファイルを事前に展開しておき、**ICCSert.txt**を選択し開きます。



12. 証明書がアップロードされると下記の表示になります。



13. ページの最下部へ移動し、変更を保存します。



## QRコードログインを適用するChromeデバイスを特定の組織部門に移動

特定の組織部門に所属するChromeデバイスに対してのみQRコードログイン機能を有効にする場合は、デバイスの設定を特定の組織部門に適用するため、Google管理コンソールに登録したChromeデバイスを対象の組織部門に移動してください。

### ⑨ ポイント

- ・設定は特権管理者が行います。
- ・既にChromeデバイスを組織部門にわけて管理している場合は、設定変更の必要はありません。

### ⑩ ポイント

組織部門はユーザー用とデバイス用に分けて作成することを推奨します。これにより、デバイスとユーザーのポリシーを別々に管理することができます。

詳しくは以下のGoogle Workspace管理者ヘルプを参照してください：

Google管理者ヘルプ: ユーザー別のポリシーの適用

<https://support.google.com/a/topic/1227584?hl=ja>

(組織部門の作成例)

#### ▼ 教育委員会

##### ▼ 教職員ユーザー

教育委員会

管理職

教諭

ICT管理者

##### ▼ 教職員デバイス

##### ▼ 児童生徒

##### ▼ チエル第1小学校

児童生徒デバイス

##### ▼ 児童生徒ユーザー

各学年

##### ▼ チエル第2小学校

児童生徒デバイス

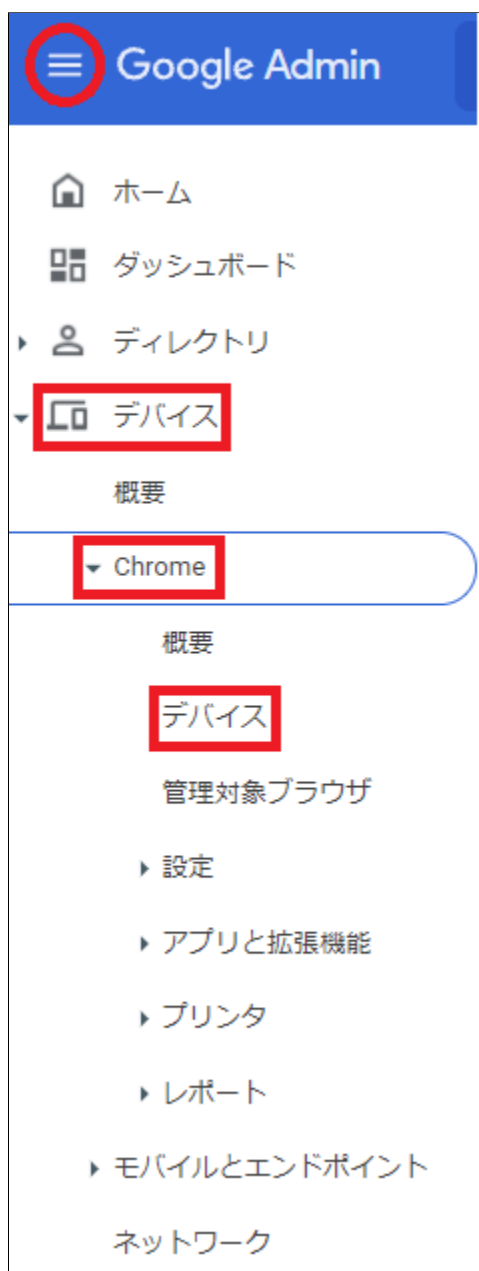
##### ▼ 児童生徒ユーザー

各学年

デバイスの組織部門を作成し、  
Chromeデバイスを登録する。

※最適なユーザー・デバイスの組織部門の構成は、学校や教育委員会の規模や運用方法によって異なります。

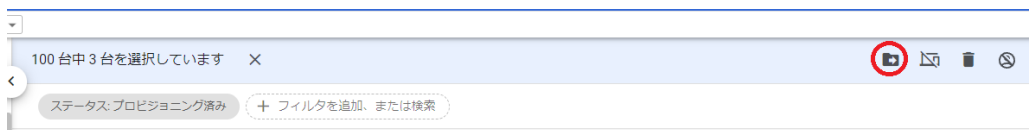
1. Chromeウェブブラウザで**Google管理コンソール** (<https://admin.google.com/>)にアクセスします。
2. **特権管理者のアカウント**でサインインします。
3. 左上のメニューをクリックし、**デバイス> Chrome>デバイス**をクリックします。



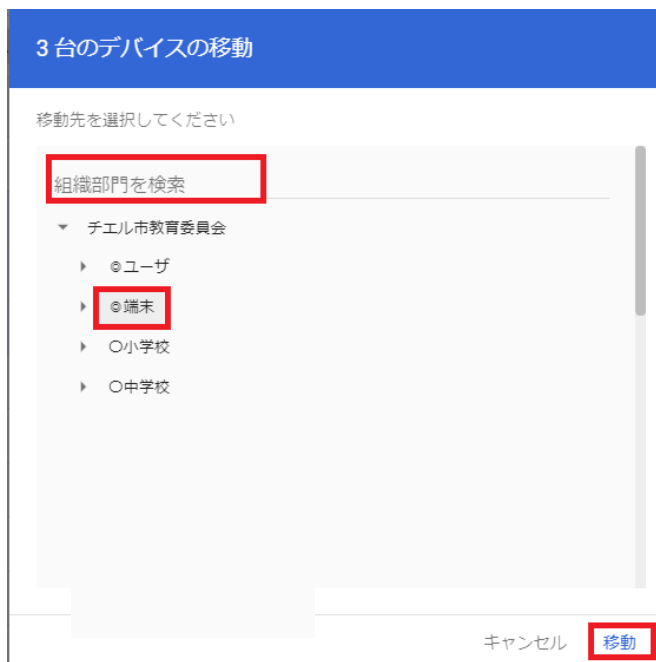
4. Chromeデバイスの一覧画面で、QRコードログインを有効にする**Chromeデバイスにチェック**を入れて選択します。



5. 右上の操作アイコンから**選択したデバイスを移動するアイコン**をクリックします。



6. デバイスの移動画面で、移動先の組織部門を選択して**移動**をクリックします。



7. 選択したデバイスが、移動先の組織部門に移動します。

## Chromeデバイスの設定の変更

QRコードログイン機能を利用するChromeデバイスが含まれる組織部門のデバイスの設定を変更します。

### ⑨ ポイント

設定は特権管理者が行います。

1. Chromeウェブブラウザで**Google管理コンソール** (<https://admin.google.com/>) にアクセスします。
2. **特権管理者のアカウント**でサインインします。
3. 左上のメニューから、**デバイス**>**Chrome**>**設定**>**デバイス**をクリックします。



4. 左の組織部門のツリーから、QRコードログインを有効にするChromeデバイスが含まれる組織部門を選択します。

組織部門を検索

▼ チエル市教育委員会

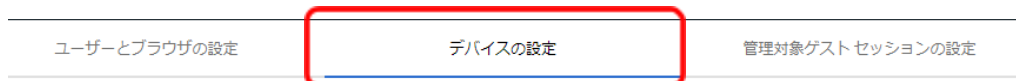
▶ チエル中学校

▶ チエル小学校

## ⑨ ポイント

QRコードログイン機能を、特定Chromebookのみに有効する場合は、対象のChromeデバイスを特定の組織部門に移動してください。詳細は、P.35 [QRコードログインを適用するChromeデバイスを特定の組織部門に移動する](#)を参照してください。

5. **デバイスの設定**タブが選択されていることを確認します。



6. 画面を下にスクロールし、**ログイン設定**の項目に移動し、▼を開きます。



7. **ゲストモード**の設定を、**ゲストモードを無効にする**に変更します。
8. **ドメインのオートコンプリートの設定**を、**ログイン時のオートコンプリート機能に、以下のドメイン名を使用する**に変更し、**ドメインのプレフィックスのオートコンプリート**に、お客様のドメイン名を入力します。
9. **ログイン画面**の設定を、**ユーザー名と写真を表示しない**に変更します。



ログイン設定

注: [ログイン画面アプリページ](#)でスマートカード ログインを有効にすることができます。

ゲストモード  
ローカルに適用 ▼ ゲストモードを無効にする ▼

ログインの制限  
Google のデフォルトに設定し... すべてのユーザーにログインを許可する ▼

ドメインのオートコンプリート  
ローカルに適用 ▼ ログイン時のオートコンプリート機能に、以下のドメイン名を使用する ▼

ドメインのプレフィックスのオートコンプリート  
ユーザー名@ **domain.com(お客様のドメイン)**

ログイン画面  
ローカルに適用 ▼ ログイン画面にユーザー名と写真を表示  
**ユーザー名と写真を表示しない ▼**

警告: ほとんどの導入環境では、この設定の使用はおすすめできません。詳しくは、[ログイン画面に関するヘルプセンター記事](#)をご覧ください。

10. シングル サインオン ID プロバイダ (IdP) のリダイレクトの設定を、**SAML SSO IdPページへの移動をユーザーに許可する**に変更します。

11. シングル サインオンによるカメラへのアクセスの許可の設定に、**https://sso.interclasscloud.com/**を入力します。

シングルサインオン ID プロバイダ (IdP) のリダイレクト  
ローカルに適用 ▼ SAML SSO ID プロバイダ (IdP) へのユーザーのリダイレクト  
**SAML SSO IdP ページへの移動をユーザーに許可する ▼**

シングルサインオン Cookie の動作  
Google のデフォルトに設定し... ログイン中、ユーザー セッションへの SAML SSO Cookie の転送を無効にする ▼

警告: このポリシーは、Chrome デバイス向けに SAML SSO が設定されている場合にのみ該当します。 [Chrome デバイスでの SAML シングルサインオン設定について](#)

シングルサインオンによるカメラへのアクセスの許可  
ローカルに適用 ▼ カメラへのシングルサインオンアクセスが可能な URL  
**https://sso.interclasscloud.com**

警告: このポリシーを有効にすると、ユーザーのカメラへのアクセスを、ユーザーに代わってサードパーティに許可することになります。シングル サインオンとカメラへのアクセスの許可について詳しくは、ヘルプセンター記事をご覧ください。

12. 画面右上の保存ボタンをクリックします。

5 個の設定を変更しました 元に戻す **保存**

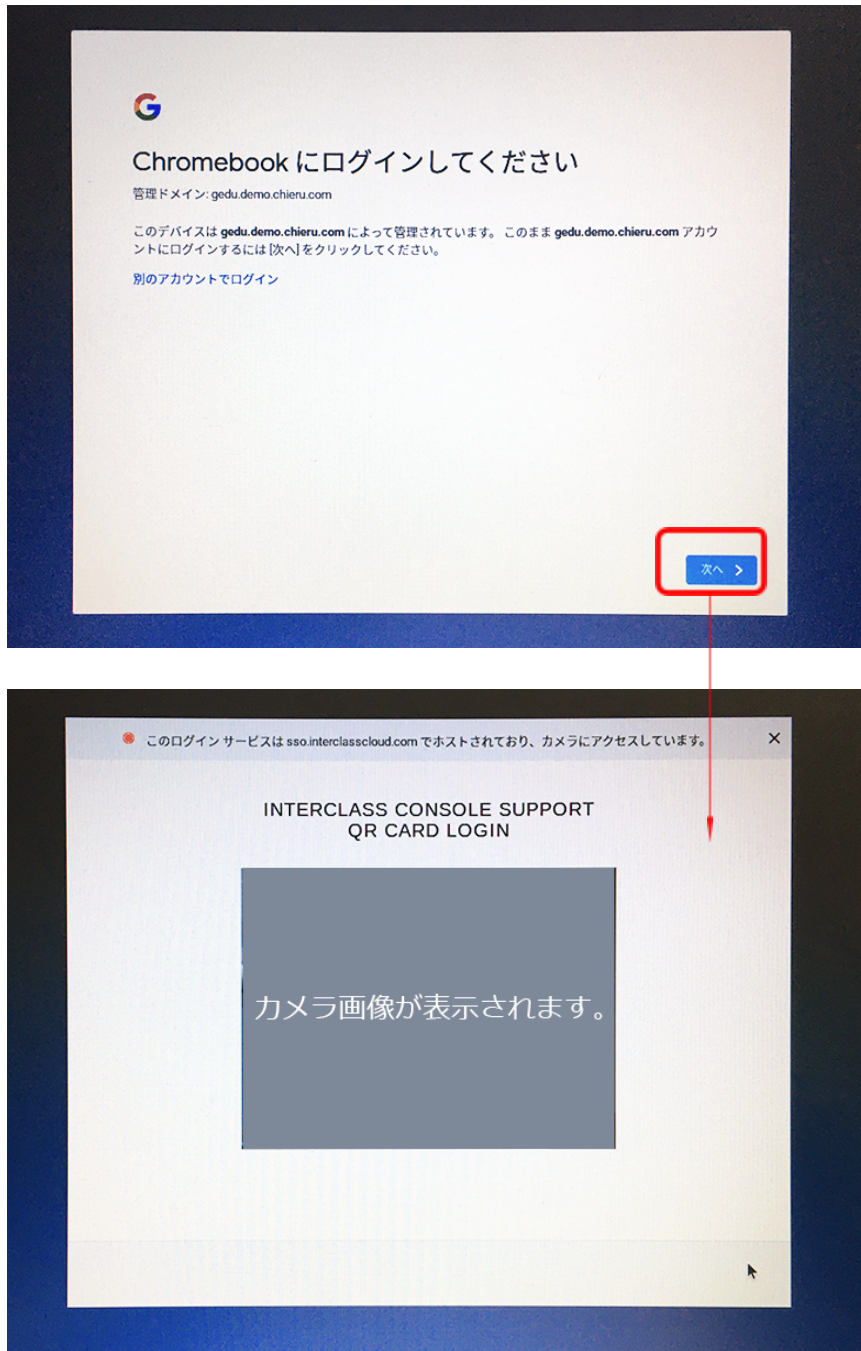
デバイス > Chrome > 設定 ▼

組織部門を検索

ユーザーとブラウザの設定 デバイスの設定 管理対象ゲスト セッションの設定

## Chromebookのログイン画面を確認

上記の設定が全て正常に適用されると、対象のChromebookのログイン画面が変更され、QRコードを使用したChromebookへのログインができるようになります。  
ログイン画面は以下のように変わります。

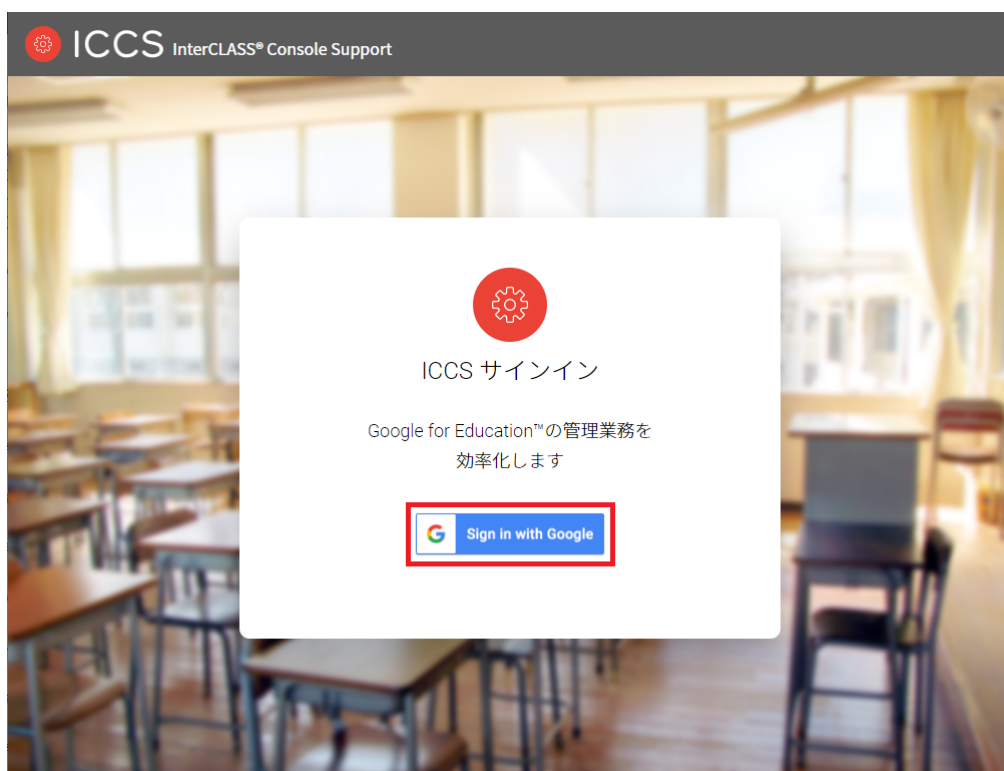


# InterCLASS Console Supportの起動と終了

InterCLASS Console Supportへアクセスし、特権管理者アカウントでログインします。

## InterCLASS Console Supportへログインする

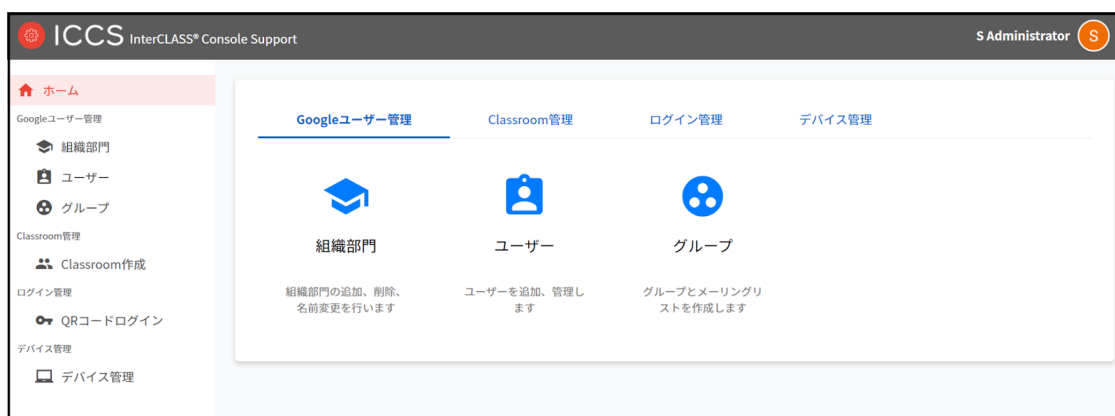
1. Chromeウェブブラウザで新しいタブを開き、**InterCLASS Console Support** (<https://cs.interclass.jp/>) にアクセスします
2. ICCSにログインします。**Sign in with Google**をクリックします。



3. Googleのログイン画面が表示されます。管理者のメールアドレスを入力し、**次へ**をクリックします。

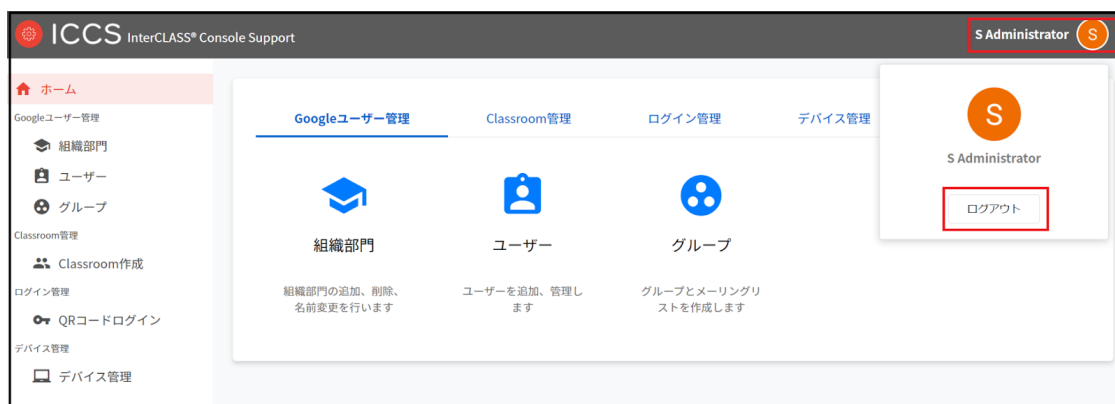
4. パスワードを入力して次へをクリックします。

## 5. ICCSのトップページが表示されます。



## InterCLASS Console Supportへログアウトする

ICCSからログアウトする際は右上のアカウント名をクリックし、ログアウトをクリックします。

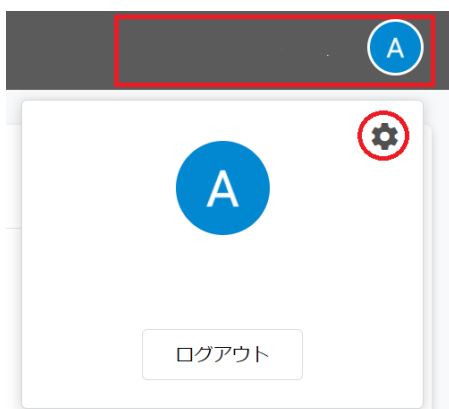


# システム管理の設定

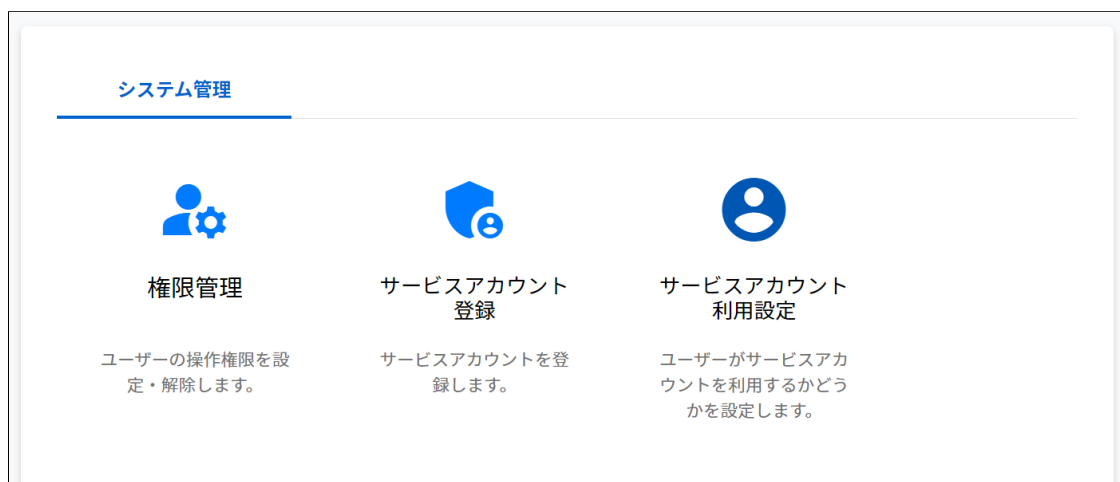
InterCLASS Console Supportのシステム管理は特権管理者としてログインし、システム管理のため初期設定を行います。システム管理では、権限管理、サービスアカウント登録、サービスアカウント利用設定が行えます。

## システム管理を開く

1. InterCLASS Console Supportの右上にあるアイコンをクリックし、歯車マークをクリックします。



2. システム管理が開きます。



## サービスアカウント登録

GCP(Google Cloud Platform)で作成したサービスアカウントの秘密鍵(.json)をアップロードします。この操作はInterCLASS Console Supportの利用開始時に行います。

1. サービスアカウント登録をクリックします。



## サービスアカウント 登録

サービスアカウントを登  
録します。

2. サービスアカウント登録画面が開きます。

### サービスアカウント登録

GCPで作成したサービスアカウントの秘密鍵をアップロードします。

登録状態：未登録

インポートファイル:  選択されていません

3. インポートファイルからファイルを選択をクリックします。

インポートファイル:

ファイルを選択

4. インポートファイルを選択すると次のようにファイル名が表示されます。

インポートファイル:

ファイルを選択

\_key.json

5. アップロードボタンをクリックします。



6. サービスアカウント登録をもう一度開きます。

7. 登録状態が登録済みになっていることを確認してください。

**サービスアカウント登録**

GCPで作成したサービスアカウントの秘密鍵をアップロードします。

登録状態：**登録済み**

インポートファイル: 

ファイルを選択

 選択されていません

キャンセル

アップロード

## サービスアカウント利用設定

InterCLASS Console Supportを操作するサービスアカウントの利用設定を行います。お客様の環境や運用体制によりサービスアカウントの利用有無をご検討ください。

### サービスアカウントを利用しない場合

Google Workspaceの管理ロールを持つユーザーでInterCLASS Console Supportを利用します。Google Workspaceの管理コンソールで設定している特権管理者やカスタムロールが該当します。

### サービスアカウントを利用する場合

InterCLASS Console Support上（内）で有効なサービスアカウントを設定し、権限管理画面でドメイン管理者に操作権限を与えられたユーザーがInterCLASS Console Supportを利用します。



## 権限付与方法の違い

	サービスアカウントを利用しない	サービスアカウントを利用する
設定画面	Google Workspace 管理コンソール	InterCLASS Console Support
権限の種類	特権管理者 カスタムロール	組織部門権限 ユーザー権限 グループ権限 自Classroom権限 全Classroom権限 QRコード権限 デバイス管理

1. サービスアカウント利用設定をクリックします



### サービスアカウント 利用設定

ユーザーがサービスアカウントを利用するかどうかを設定します。

2. サービスアカウント利用設定画面が開きます。

サービスアカウント利用設定

登録したサービスアカウントを利用するか設定します。

サービスアカウントを利用しない場合、権限管理画面でユーザーへ与えた権限は無効となり、特権管理者またはそれと同等の権限を持つユーザーのみが利用可能となります。

現在の状態：サービスアカウントを利用しない

キャンセル

サービスアカウントを利用する

3. 現在の状態を確認します。

現在の状態：サービスアカウントを利用しない

4. サービスアカウントを利用するをクリックします。

サービスアカウントを利用する

5. 現在の状態がサービスアカウントを利用するになっているか確認します。

#### サービスアカウント利用設定

登録したサービスアカウントを利用するか設定します。

サービスアカウントを利用しない場合、権限管理画面でユーザーへ与えた権限は無効となり、特権管理者またはそれと同等の権限を持つユーザーのみが利用可能となります。

現在の状態：サービスアカウントを利用する

キャンセル

サービスアカウントを利用しない

現在の状態：サービスアカウントを利用する

#### 権限管理

サービスアカウントを利用する場合、InterCLASS Console Supportに利用申請時に記載した特権管理者でログインし、権限管理の設定を行います。詳しくは、『**InterCLASS Console Support操作マニュアル**』をご参照ください。



#### 権限管理

ユーザーの操作権限を設定・解除します。

## CHIERUサポートについて

---

下記サポートセンターまでお問い合わせください。

**URL**        **<https://support.chieru.net/>**

**E-Mail**     **[support@chieru.co.jp](mailto:support@chieru.co.jp)**

**TEL**        **03-5781-8110**

**FAX**        **03-6712-9461**

### 【受付時間】

午前10時～正午、午後1時～午後5時

土曜日、日曜日、祝祭日および弊社指定休日は休業させていただきます。

---

## InterCLASS Console Support v2.4操作マニュアル(設定編)

---

2021年12月

作成/発行/企画

チエル株式会社

〒140-0002 東京都品川区東品川2-2-24天王洲セントラルタワー3F

※記載されている会社名及び商品名は、各社の商標もしくは登録商標です。

---

\*本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。

\*本書の内容の一部または全部を無断で転載、あるいは複製することを禁じます。

\*本書の内容については万全を期して制作致しましたが、万一記載に誤りや不完全な点がありましたらご容赦ください。

---

## Chieruチエル 株式会社

- 本 社 〒140-0002東京都品川区東品川2-2-24天王洲セントラルタワー3F  
TEL: (03)6712-9721 FAX: (03)6712-9461
- 札幌営業所 〒060-0062北海道札幌市中央区南2条西9丁目1-2サンケン札幌ビル6F  
TEL: (011)804-7170 FAX: (011)804-7171
- 仙台営業所 〒980-0013宮城県仙台市青葉区大町1-4-1 明治安田生命仙台ビル 3F  
TEL: (022)217-2888 FAX: (022)206-5222
- 首都圏営業所 〒140-0002東京都品川区東品川2-2-24天王洲セントラルタワー3F  
TEL: (03)6712-9471 FAX: (03)6712-9461
- 名古屋営業所 〒460-0003愛知県名古屋市中区錦1-18-11 CK21広小路伏見ビル3F  
TEL: (052)857-0082 FAX: (052)857-0083
- 大阪営業所 〒532-0011大阪府大阪市淀川区西中島7-1-29 新大阪SONEビル5F  
TEL: (06)6838-3077 FAX: (06)4806-7056
- 広島営業所 〒732-0828広島県広島市南区京橋町1-7アスティ広島京橋ビルディング2F  
TEL: (082)236-6077 FAX: (082)236-6078
- 福岡営業所 〒812-0013福岡県福岡市博多区博多駅東2-4-17 第6岡部ビル5F  
TEL: (092)483-1603 FAX: (092)483-1604
- 沖縄営業所 〒901-2127沖縄県浦添市屋富祖1-6-3 森ビル  
TEL: (098)943-0511 FAX: (098)943-0669

<https://www.chieru.co.jp>